



「バイオテクニカ 2013」

会期:2013年10月8日~10日

会場:ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

ハノーバーフェアーズジャパン株式会社

2013年10月

報道・業界関係者各位

「バイオテクニカ 2013」結果報告書

成功裏に閉幕した国際バイオテクノロジー見本市「バイオテクニカ 2013」

- 個別化医療技術とバイオエコノミクスに注目
- 新しい「マーケットプレイス」というアプローチが非常に好評
- 強力なパートナーカントリーであるスイスによるダイナミックな展示

国際生命科学見本市・会議「バイオテクニカ 2013」はドイツ・ハノーバー国際見本市会場で2013年10月8日から10日まで3日間に亘り開催され、商談や交流のきっかけ作り、パートナーシップの提携が行える場を提供した。「バイオテクニカ」は、バイオテクノロジー、ライフサイエンスおよびラボ用機器に関するヨーロッパ最大規模の国際バイオテクノロジー専門見本市として、全ヨーロッパのバイオテクノロジー産業の中心的役割を演じて閉幕した。主催者のドイツメッセ株式会社(以下、ドイツメッセ)は、この結果に非常に満足している。今回の基調テーマであるバイオエコノミクスとスイスのパートナーカントリーの展示は、出展社や来場者から今回のイベントで最高の評価を得た。

ドイツ・ハノーバーを本拠とするドイツメッセ取締役副社長であるヨッハン・ケックラー博士(以下、ケックラー)は、「『バイオテクニカ』は、将来取り組むべき主要な課題に対処するプロセスや技術を提供することに尽力している非常に革新的なセクターに着目した。『バイオテクニカ』は、化粧品や食品から抗がん剤まで広範囲に亘り、バイオテクノロジーが我々の生活のあらゆる部分、そして明日の経済においても中核的役割を果たすことを見事に実証してきた」と述べた。

「バイオテクニカ 2013」には世界28カ国から合計616社が出展し、バイオ分野における最新の研究成果や機器、食糧生産、産業、環境保護に関する技術的なアプローチとイノベーションを紹介した。今年の「バイオテクニカ」は、化石燃料に依存した社会を持続可能でバイオテクノロジーに基づく経済へと移行するために必要となるプロセスや技術など、エネルギー効率やバイオエコノミクスというテーマと並び、個別化医療技術、食品産業におけるバイオテクノロジーを用いたソリューション、工業バイオテクノロジーが着目された。

今年の基調テーマであるバイオエコノミクスは極めて評判が良かった。「バイオエコノミクスは将来の社会の中核をなすトピックとなるだろう」、とケックラーも述べている。「バイオテクノロジーに基づくプロセスや手法は、増大する資源不足に対処し、世界の人々の食を確保するのに役立つだろう」。

「バイオテクニカ 2013」では、それぞれの重要テーマで定めた目標を達成できるように、テーマ別のマーケットプレースそれぞれにフォーラムを併催した。これにより来場者は、最も重要な進歩を見逃すことなく、それぞれのマーケットが提供しなければならないものの全体像を容易に把握できるようになった。

「バイオテクニカ」で今回初めてパートナーカントリーを務めたスイスは、当国際見本市をリードし、ダイナミックなバイオテクノロジー国であることをアピールした。スイスからは 70 以上の企業や研究所が出展し、スイスのバイオテクノロジー産業の大きな潜在力と革新性を示し、非常に印象的な展示を行った。

3 日間の見本市で来場者は合計で 10,000 人を超えた。来場者のおよそ 50%が、製品開発のための新しいヒントを得るために「バイオテクニカ」に参加した、と述べた。出展社は、来場者の多くが専門能力を持ち意志決定に関わる立場の人だったことを高く評価した。全来場者のうち、およそ 20%がドイツ国外からの来場者で、EU 圏内外の国々、そしてアジアからの来場者が際立って増加した。

支援プログラム（会議、フォーラムとワークショップ）

「バイオテクニカ」に来場する主な動機はビジネスコンタクトだが、新たな専門知識に対する興味や知識移転も目的として挙げられることが判かった。研究開発や異業種間ネットワーク作りがまさしくそのアジェンダのトップであり、「バイオテクニカ 2013」は会議、フォーラム、ワークショップといった包括的な展示プログラムでその魅力とクオリティーを充分発揮し、来場者の期待に応えた。

次回の「バイオテクニカ」は 2015 年 10 月 6 日から 8 日に開催される。

詳しい情報と画像や写真は、次のサイトからダウンロードできます。

www.hannovermesse.de/pressservice

「ハノーバー・メッセ 2014」のご出展ご来場に関する詳細はハノーバーフェアーズジャパン(株)までお気軽にお問い合わせ下さい：

ハノーバーフェアーズジャパン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-5-1 TobunshaBLDG1 階

Tel: (03) 5215-7121 Fax: (03) 5215-7122 <http://www.hannovermesse.co.jp/>